




ラミネートベニア治療法

ラミネートベニア法とはセラミック治療法の一つで、歯の表面を薄く削り(0.5mm～0.7ミリ程度)セラミックの薄いシェル(貝殻状)の板を表面に貼り付ける審美的歯科治療です。



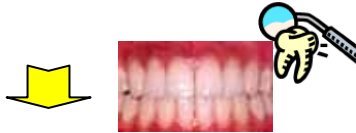
【ラミネートベニアとセラミッククラウン・ホワイトニングの比較】

	ラミネートベニア	セラミッククラウン	ホワイトニング
治療期間	約2～3週間	約1ヶ月半から2ヶ月 (1～3本程度の治療)	約2週間から1ヶ月半
通院回数	2回～4回	2回～4回	2回～5回
治療費用	自費治療 (セラミッククラウンの半額程度)	自費治療	自費治療 (歯を白くする方法として安価)
神経の処置	なし	必要な場合がある	なし
歯への負担	中	強	小
色調	色は選択できるが透明感が出にくい	白さ、透明感共によききれい	選択できない 効果が期待できない症状もある
変色	無い	無い	数ヶ月～1年半で後戻りがある。
形態修正	軽度の形態修正	大きく修正できる	できない
強度	比較的弱い	強い	-
適応	限られる	広く適応	広く適応
			

【治療の適応と限界】

適応条件

- 前歯のみ治療が可能
- 神経治療を受けていない歯
- 正常な歯並び、かみ合わせ



適応条件を全て満たすとき有効な治療

- ホワイトニング治療で効果の得られない歯
 - 先天的な問題を持つ変色歯
 - 薬物の副作用による変色歯
- 軽度の形態修正を望む治療
- 歯の形の修正
 - 歯間の小さな隙間を埋める
 - 軽度の歯の歪みの修正



禁忌条件

- 臼歯の治療
- 大きな虫歯の治療(神経の治療・かぶせ)
- 歯並び・かみ合わせに問題がある
- 歯が大きくかけている



禁忌条件が一つでもある場合

歯科医師と相談の上、最良の治療法を選ぶ

- セラミック治療
- 歯列矯正治療など...



ラミネートベニア治療を受けるには……

- 精密検査を受けてから治療方針を決定する
 - ◇ 治療の適応範囲が限られる
 - ◇ 治療前の状態を歯科医師に確認をしてもらう必要
 - ◇ 虫歯、歯周病、かみ合わせの総合的な診断が必要



セラミックの薄い板を貼り付けるだけの治療ですが、実質的にはセラミックの厚みの少なさによる強度の弱さ、貼りつける維持力の弱さが最大の欠点となります。精度の高い的確な治療内容でなければ、少しの付加力での脱離や破損の原因になりかねません。精密な治療と型取り、さらに精巧なラミネートベニアの制作工程と技術を要します。一貫して高度で的確な治療技術を要します。